

麻しん疑い患者さん受診時の流れ(目安)

R8.4.6 版 長崎市保健所

I. 臨床症状

発熱：あり なし
 カタル症状*1：あり なし
 麻しんに特徴的な発疹*2
 発疹有無：あり なし
 部位：(顔・体幹・上肢・下肢・
 その他())
 時期：発熱初日を 0 日として
 ()日後に出現

II. 疫学的状況

麻しんの既往歴：あり*3 なし
 ワクチンの接種歴：0回 1回
2回 3回以上 不明
 海外渡航歴：あり なし
 国内旅行歴：あり なし
 行動歴*4(麻しん患者との空間共
 有、大人数が集まる場所への滞在
 など)：()

各種情報から麻しんが疑われた場合

- 1) 長崎市保健所(感染症対策室)へご連絡をおねがいします
 (平日 8 時 45 分～17 時 30 分) 095-829-1172
 (夜間・土日・休日) 095-822-8888
- 2) 発生届の提出 ① 感染症サーベイランスシステム入力
 または ② FAX:095-829-1221
- 3) 検体採取 ① 全血(EDTA 加血) ② 咽頭拭い液 ③ 尿 の 3 種類
- 4) 必要書類等 検査票(別記様式)
- 5) 検体搬送 保健所の職員が検体回収に伺います
- 6) 結果報告 結果判明後は保健所から医療機関へ結果をご報告いたします
- 7) 帰宅される患者さんへは以下をお伝えください。
 - ・結果判明まで、外出や公共交通機関の利用をお控えください
 - ・陽性の場合は発熱の1日前から解熱後 3 日まで感染可能期間となります
 - ・再発熱、発疹出現時の注意や再受診について
 - ・保健所から連絡が入りますので、ご協力をお願いいたします

*1 カタル症状：咳嗽、鼻汁、
 眼脂、結膜充血
 *2 典型的経過では、3 日ほ
 どの発熱→解熱→再発熱と
 ともに発疹出現
 *3 あり＝抗体獲得を確認
 済が望ましい
 *4 接触歴が明らかな方は、
 接触後(特に約 10 日後、最
 長 21 日)に発熱等の麻しん
 を疑う症状が出た時点でご
 相談ください。

①全血(EDTA(紫)) 5ml お
 願いします。分離不要、最少
 2ml
 ②咽頭拭い液＝滅菌綿棒で
 咽頭をぬぐい、綿棒先端を滅
 菌スピッツ入れてください。当
 日回収は生理食塩水やハン
 クス液は不要です)
 ③尿(滅菌スピッツ等)10ml
 ※回収まで時間を要する場合
 は冷蔵保存ください。

*****ご診療にあたっては感染対策をお願いいたします*****

- ・事前に(オンライン予約や電話予約の際)、上記 I、II 等をご確認いただくことをお勧めします。
- ・接触者が最小限になるように、診察時間・場所などにご配慮ください。
- ・診療は、免疫保有者(2 回の予防接種済または抗体獲得確認済)が望ましいと思われま。
- ・対面時は、N95 マスクを含む個人防護具など適切な空気感染予防策を行ってください。
- ・空気中に残ったウイルスも最長 2 時間は感染力があります。換気の際には風向きにご配慮ください。
- ・アルコールが有効なウイルスに属しますが、噴霧は人体に有害であるためお控えください。